

平成29年12月8日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公 明 党

代表者名 増 崎 俊 宏

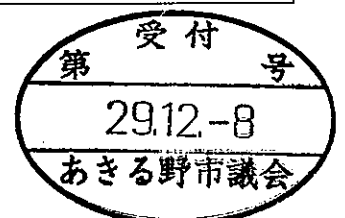


会派の（調査研究 **研修**）報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成29年11月2日（水）10：00～12：30 14：00～17：00
2 調査研究または 研修の場所	・アットビジネスセンター池袋駅前別館
3 調査研究事項 または研修名	地方議会総合研究所議員セミナー ・統一的公会計基準による財務書類の予算審議等への利活用 ・自治体財政の診断と処方箋の活かし方
4 参加者氏名 （ 3 名）	増崎 俊宏 田中 千代子 大久保 昌代
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり



【概 要】

講師：兼村 高文氏（明治大学公共政策大学院教授）

午前：参加者 15 名

自治体財務書類のこれまでの位置づけ

平成 27 年度決算から導入された統一的基準の財務書類の読み方

総務省が例示している利活用とは

予算審議は財政の「身の丈」を知ることから始める

予算審議における決算情報の取り込み方

予算審議事例から利活用を考える

午後：参加者 12 名

自治体財政の健康診断の重要性

健康診断の方法：財政状況資料集の読み方

診断結果の分析：財務書類も含めた分析

自治体財政健全化法（健全化判断比率）で捉えられない悪化の実態

実態を踏まえた健全財政の処方箋をどう書くか

処方箋の議会での活用：改正地方自治法とも関連して

健全財政の推進は議会/行政/監査の三位一体で

【感想等】

かなりボリュームのある講義を丸一日かけて、会派全員で受講でき、大変充実した研修となった。感謝している。午前の部は、これまで会派でセミナー等への参加や勉強会で学んできたことと同様であったが、自分自身は復習の意味でも大変良かったし、何より新人議員にはこれまでの経緯や基礎的な部分での理解が進んだのではないかとと思っている。また、自分自身が議会一般質問で訴えてきたことと重複している部分が多々あり、自信を持つこともできた。

午後は、かなり刺激的な講義であった。地方自治体の健康診断の重要性から始まり、診断方法と結果分析。分析には、決算統計と財務書類の分析で総合的財政

診断を下すのが良いとのこと。時間をとり実際にやってみたいと思う。

また、健全化判断比率などの財政指標の見直しが検討されていること。健全化判断比率は負債に対して返済可能かどうかを測定しているにすぎず、自治体財政が健全かどうかの指標としては不十分なのでは？との問いかけもあった。夕張市の問題が発覚し、作られた意味合いが強いので、どうしてもそうってしまったのではないかと説明や今は社会保障関係経費を捉えられる指標が必要との説明もあり、現在、総務省に検討会が設置されたとのこと。期待したい。

本市においては、来年3月に財務書類が出される予定だが、その書類をどう活かしていくのかがカギであり、議会力や議員力が試されるのではないかとさえ感じている。私自身が普段疑問に思っていることを講師に率直にぶつけることができ納得できたし、公会計のことが分かる会計士の必要性を感じるとともにその他様々な課題についても触れていただいたので、調査・研究を重ねていきたいと思っている。